

雷への対応について

文部科学省より、下校中、持っていた金属製の水筒に落雷し、救急車で病院に搬送されたが死亡したという過去の事例等から、天候の急変などの場合には、適切な措置を講ずることという通知が出されています。

そこで、学校では児童の安全な登下校のために、下記のように雷への対応について学校で指導しています。ご家庭でも共通理解をお願いします。児童の発達段階に合わせてご指導をお願いします。

記

<雷への対応について>

1. 下校時に雷鳴がある場合は教室で待機させます。（その場合は、メール配信でお知らせします）その際、保護者のお迎えをお願いします。ただ、防犯上の観点から、教室までお迎えをお願いします。
2. 登校時に雷鳴がある場合は保護者の判断で登校を遅らせていただいてもかまいません。（ただし電話にて必ず知らせください。）
3. 「登下校の途中、あるいは放課後等に遊んでいる場合、突然雷鳴があったらどうするか」については次のように指導しています。ご確認ください。

<指導している内容について>

1. 雨雲が近づき雷の光が見えたり、音が聞こえたりしたら危険なので、すぐにコンクリートなどでできた**頑丈な建物**に避難します。（軒先の雨宿りも危険です。）
2. 車に乗っているときは、そのまま中に乗っている方が安全です。
3. 雨宿りのために木の下にとどまるのは危険です。木や電柱には雷が落ちやすいので近づくのはやめます。
4. 広い河原や校庭は危険です。すぐに避難します。また、近くに安全な場所がない場合は、しゃがむなど姿勢を低くして避難します。